

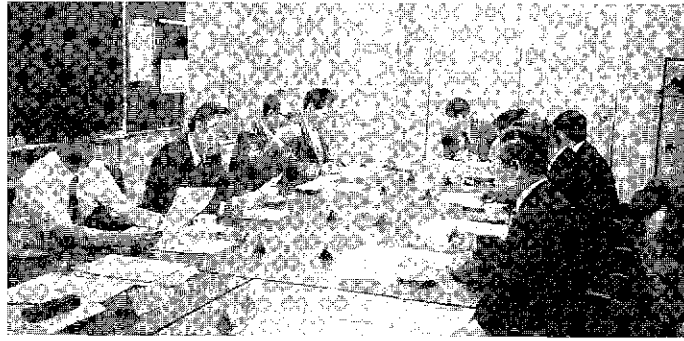


表紙 良寛法要  
(和島村公民館)

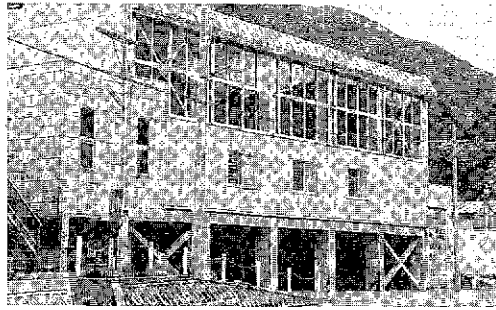
## 特集 青少年育成

視 点 今何故「奉仕活動」か  
ひろば 公民館事業に寄せて  
実践記録 輝いている今だから 十日町青年学級  
サークル交流 子育て支援グループ  
ほいっほ倶楽部 (新津市中央公民館)  
陶芸教室 (柿崎町中央公民館)  
素顔拝見 清水康之さん (五泉市公民館)  
尾野美紀さん (堀之内町公民館)

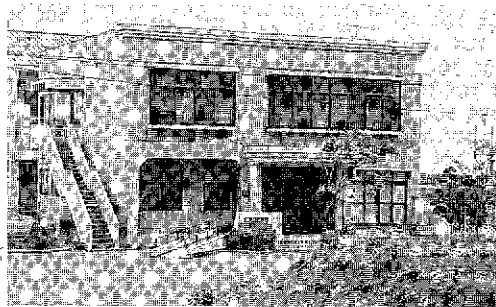
# 第 2 回 理 事 会 開 催



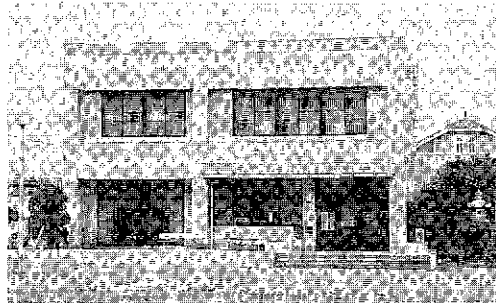
当面の課題も含めて真剣な協議



受賞される柏崎市上米山公民館



同 柏崎市米山公民館



同 柏崎市鯨波公民館

## 第 49 回 新 潟 県 公 民 館 大 会 に お け る 受 賞 候 補 の 選 考 終 了 永 年 勤 続 表 彰 は 九 名 優 良 公 民 館 は 三 館

去る 6 月 11 日 ( 木 )  
新潟市中央公民館で、  
今年度第 2 回理事会が  
開催された。  
主たる議題は、第 49  
回新潟県公民館大会に  
おける優良公民館並び

に永年勤続者表彰候補者の選考  
であった。  
一、優良公民館の部では、あら  
かじめ推薦のあった公民館は、  
柏崎市からの三館で、その施設  
設備状況、計画的な活動状況並  
びに運営・事業費等と地元柏崎  
市の意向を尊重して、柏崎市上  
米山公民館、柏崎市米山公民館  
柏崎市鯨波公民館の三館が表彰  
と決定された。

二、永年勤続者表彰の部では、  
公運審 2 名、館長 2 名、嘱託・  
協力・指導員等 5 名の計 9 名が  
いずれも適格と認められ、受賞  
となった。  
なお、受賞決定の公民館並び  
に永年勤続者は、下欄別表のと  
おりである。  
三、その他の議題では、先回の  
評議員会で指摘のあった当連合  
会の今後の健全な財政の確立に  
ついて真剣な協議がなされた。  
また、今井会長より県大会運  
営委員の委嘱が全理事になさ  
れ、会議は無事終了した。

### ◆ 優良公民館表彰

- ・ 柏崎市上米山公民館 (柏崎市大字谷根三、二三二一三)
- ・ 柏崎市米山公民館 (柏崎市米山町、三三八一乙)
- ・ 柏崎市鯨波公民館 (柏崎市鯨波二一四一五〇)

### ◆ 永年勤続者表彰 (敬称略)

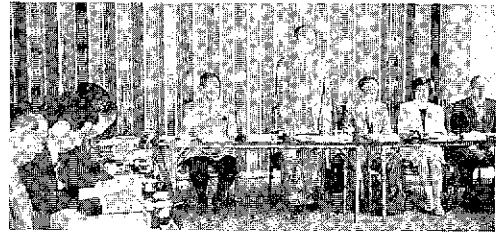
- ・ 荒井 春代
- ・ 新潟市北地区公民館
- ・ 非常勤嘱託職員
- ・ 安原 孝四郎
- ・ 長岡市千手地区公民館
- ・ 前館長
- ・ 宮川 長
- ・ 上越市立公民館協力員
- ・ 関 由美子
- ・ 柏崎市高浜公民館
- ・ 地区指導員
- ・ 山川 幸子
- ・ 柏崎市中央地区公民館
- ・ 地区指導員
- ・ 難波 一也
- ・ 加茂市公民館須田分館館長
- ・ 風間 源一郎
- ・ 小須川町中央公民館
- ・ 前公運審委員
- ・ 陸川 正雄
- ・ 中郷村公民館公運審委員
- ・ 中川 富士夫
- ・ 畑野町公民館総務部員

### 全公運總會開催

#### 新会長に

#### 望月哲太郎氏

第 39 回 通 常 総 会 は、去る 6 月  
12 日 ( 金 )、東 京 ・ フ ロ ラ シ オ ン  
青 山 で 開 催 さ れ、平 成 9 年 度 事  
業 報 告、歳 入 ・ 歳 出 決 算、次 い  
で 平 成 10 年 度 事 業 計 画 案、歳  
入 ・ 歳 出 予 算 案 が 提 案 ・ 承 認 さ  
れ た。ま た、任 期 満 了 等 に 伴 う  
役 員 選 任 に つ い て は、新 会 長 に  
望 月 哲 太 郎 氏 を は じ め、理 事 ・  
監 事 が 改 選 さ れ た。



### 関ブロ公連理事会開催 山梨県河口湖町にて

平成10年度関ブロ公連理事会は、6月4日(木)～5日(金)山梨県河口湖町大屋ホテルで開催された。

理事会では、平成9年度事業報告及び決算報告がなされ、次いで平成10年度役員には、会長に山梨県公連持田利雄会長が選任された。

なお、改選に伴うブロック代表全公連理事には、関ブロ公連松下誠顧問を、ブロック代表事務局長には、千葉県公連千藤尚志事務局長を推薦することとした。

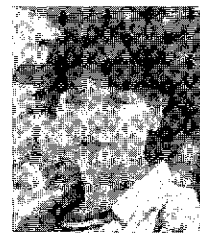
次いで、第39回関ブロ大会、第21回全国大会について提案され、とくに全国大会の司会、基調発表者の割り当てがなされたが、当県連合会へ割り当てはなされなかった。

翌日は、関ブロ大会開催主会場の町民体育館をはじめ、分科会場の山梨県環境研究所等を視察し、8月の再会を期して別れた。

議長・進行交替の後、平成10年度事業計画(案)・予算(案)、被表彰者について提案・承認された。

### 公民館事業に寄せて

小千谷市公民館運営審議会委員 関 美 枝 子



私の住んでいる小千谷市には、二年前錦鯉の形をした近代的な総合体育館がつくられました。公民館事業においても、スポーツに關係するもの等で多く使用され、好評を博しております。小千谷市の誇る施設といえましょう。

ところで、数年前から、公民館事業の一つである「すこやか子育て教室」というものが開かれております。親子關係における、子どもを理解し、親と子のふれあいを深めるための教室であります。

親の皆さんが、安心して勉強できるように、私もネットワーカ―として、未満児の子どもさんを保育しています。教室終了後には、子育てサークルもでき週一回の自主活動を行い、現在四サークル、一〇〇名もの会員になりました。

核家族の多い今日、子育てを一人で悩まず、お互いに情報交換ができると、大変喜ばれます。

また、高齢化社会の現今、私自身が生涯学習をしなければと、思い、婦人学級を受講しています。受講者の皆さんの生き生きとした、心の解け合った雰囲気の中で、意欲とパワーに刺激されながら、目から、耳から、自分自身の活性化のために、楽しく勉強しております。

勉強することにより感動し、実践することにより充実感を味わい、人との心のふれあいから、人間社会の秩序を育んでくれる婦人学級に心から意義を感じております。

とにかく、公民館は、参加型の講座等による、楽しく学べる場であり、学校、家庭、社会とも一体となつての人間関係づくりの場でもあります。それは、人生の道づくりと機会づくりをしてくれる場ともいえましょう。

そのような公民館とその活動に、もっと多くの男性の積極的な参加があれば、より一層活性化するものと思えます。

### 視 点

平成八年五月、糸魚川市上早川の銚ヶ岳の裾野にホコ自習館を開館した。個人や文化グループに自習・研修のスペースを提供することを主な活動として二周年を迎えた。年一回は上早川文化事業実行

委員会と共催で企画事業を行っている。今年「ホコの里から宇宙を考ふる」をテーマとしていくつかのイベントを行った。実行委員の皆様は実に生き生きと活動される。そして

学習の場だ」ということである。生涯学習の主な場面は、家庭・職場(学校)・趣味・地域社会の四つであるが、地域社会での学習の積極面に、実行委員会活動やその呼びかけによる

### 今何故「奉仕活動」か

勝 山 一 義

上早川公民館には多大なご支援をいただいている。

地域活動に参加している人は皆、いい顔をしておられる。そういう人が多くなれば、いい社会になる。今奉仕活動

の奉仕活動・文化活動があると考えられる。重要な役割を果たしていると言えよう。

(ホコ自習館 館長)



活動から学んだ最大のことは「社会奉仕は活動する人にとって最高の喜びであり、生涯



### 執筆者紹介

田中民司様は、かつて新潟市教育委員会で青少年教育担当の傍ら、新潟市子ども会初代事務局長、新潟県健民少年団連合会事務局長として活躍されました。その後、白根市立大鷲小学校長時代は、大郷地区公民館運営委員、また、新潟市立長嶺小学校長時代は、東地区公民館運営委員として社会教育の分野でも実績を残されており、今回、長嶺小学校区で実際取り組まれました。不登校問題についてご紹介していただくことになりました。

## 融合推進プロジェクト事業より)

### 校対策推進

#### 実践一

主事 田中 民司



### 一 はじめに

本県の登校拒否の発生状況を見ると、毎年発生率が高く、依然深刻な状況にあります。一方、いじめの実態は発生件数が減少傾向にあるものの、その行動が陰湿化して見えにくくなっています。

このような状況の中で、地域ぐるみで取り組んできた長嶺小学校区の実践事例を紹介し、今後のいじめや不登校対策の一つの手がかりになれば幸いです。

### 二 地域の様子

長嶺小学校は新潟駅万代口から約五百メートルに位置し、市民や住民の憩いの場である東公園が隣接した閑静な場所にあります。近年駅周辺の開発や国道七号線の整備に伴い、校区内の一部では急速な近代化が進んでビルが林立してきました。

また当地域には県内五大祭りの一つである蒲原祭りや地元の沼垂祭りがあります。新潟祭りも含めて地域挙げて参加するなど、連帯感や郷土愛が強く、豊かな風土を持っています。しかし恵まれた立地条件や風土とは別に、新潟駅周辺の開発と共に住民人口が減り、児童数も最高時の千四百名近くから、現在では百六十名を割り、隣接

の万代小学校との統合問題が進められています。

### 三 学校の取組み

平成六年十二月に発生した愛知県西尾市の大河内清輝君のいじめによる自殺事件を契機にその後小・中学生の自殺が連鎖反応的に起こりました。

当時、私はこの問題を深刻に受け止め、直ちに保護者や地域向けの「いじめ根絶」への協力依頼を作成して配布しました。更に翌月実態把握のためのいじめに関する調査を実施、その結果を公開して協力を訴えました。幸い保護者や地域から好意的に受け止めてもらい、その後の地域ぐるみの取組みに発展するきっかけとなりました。

### 《いじめの実態》

#### ▽第一回調査結果

(平成七年一月二十一日)

#### ◎児童関係

- ア いじめられたことがある 五四・二二%
- イ いじめられたことがない 四五・七八%

#### ◎保護者関係

- ア 我が子がいじめに遭った 二一・二八%
- イ 大変心配している 七三・七六%
- ウ 心配していない 二一・八八%

### ▽第二回調査結果

(平成八年一月二十一日)

#### ◎児童関係

- ア いじめられたことがない 二七%
- イ 前にあったが今はない 四九%
- ウ 今も時々いじめられている 三〇%

(実際の調査項目はもっと細かい設定されている)

学校側では、いじめの未然防止を主眼に家庭や地域との協力を呼びかけるため、地区の「SOS相談窓口」をはじめ、保護者に教育的な配慮をしながら情報公開をしてきました。

### 《学校側の対応策》

地域の支援体制を背景に、学校側では次のような具体策を講

じ、実践しました。

先ず校内に特別対策委員会を設置、いじめや不登校問題に積極的に取り組みました。その実践事例として、「なんでも相談箱」(SOS)を図書館に取り付けたり、職員朝会を隔週の三回に減らしたり、毎週水曜日を「NO部活デー」に指定するなど、子供と教師がふれ合う時間や場を確保する工夫をしました。また専門的な知識を持つ教職員を中心に教育相談も強化しました。このような活動を通して不登校児童も減少し、私の退職時は一名となり、八年度以降はゼロで現在に至っております。また、いじめ問題も、現時点では表面化していません。

### 四 相談窓口の開設

地域の方で一人でもいじめや不登校を「起こさないように」増やさないように」と、地域が主体となって「いじめ・不登校SOS相談窓口」が平成六年十二月に発足しました。その窓口常設の実現は、長嶺連合町内会事務局長丹羽仁氏(前東地区公民館運営審議会議長)の並々ならぬ努力のお陰であります。構成メンバーは町内会長、元小学校長、地区民生委員、主任児童委員、保護司など十名のボランティアの方々です。





# 特集 青少年育成(学社)

## 地域ぐるみのいじめ不登校

### —新潟市長嶺小学校区の新潟市教育委員会囑託指導

この窓口の役割は、校区で生じたいじめの相談を処理していくだけの対症療法の窓口ではありません。従っていじめ等の相談を受けた場合、関係学校やPTA、親、本人との連絡を密にし解決に当たっていました。当窓口の本来的狙いは未然防止です。地域に精通している者が相談に当たることにより、問題に迅速に対応できたと思います。

相談窓口発足後、半年たつと県内のいじめ対策関係団体から「組織や運営」について問合わせがありました。このネットワークに関心が寄せられ、他地域での実践への気運も感じられ

ました。当SOS窓口でもこれまで三件の事例を取りあげ、いずれも解決したとのことでした。

#### 五 活動の内容

この「いじめ・不登校SOS窓口」が本格的に活動したのは平成七年七月十一日の「いじめ・不登校問題座談会」からでした。学校や親師会（PTA）、更に地区民生委員、連合町内会の共催で実施、参加者も前述の関係者は勿論、青少年育成協の役員や他地域からも参加するなど、主催者側の予想を上回る反響でした。新聞やテレビなどマスコミにも大きく取りあげられ、住民のこの問題に対する関心も一気に高まりました。実績を上げるには、学校・地域・家庭の三位一体による相互の信頼関係が必須条件と言えます。

当事業の推進に当たっては、殊に地域と学校の協力関係が不可欠です。地域住民は、いじめや不登校の問題が生じたからと言って悲観的且つ批判的な見方をせず、冷静にプラス思考で学校と地域が連携しながら取り組むことが大切であると考えます。

また、学校関係とは別に、町内会をはじめ地域の各種団体と連携し、地域活動としての行事やイベント、祭りなどを通して子供たちとのふれ合いを重視す

ることも子供の心を育てる環境づくりの一つの方策です。

一方、大学教授など有識者を招いての研修会や座談会、講演会は、いじめや不登校問題を客観的に考えたり、住民同士の情報交換の場として役立ちました。

#### 六 実践のまとめ

長嶺小学校区「いじめ・不登校SOS相談窓口」も発足以来早五年目を迎え、地域の教育力向上の原動力となっています。

私の現職在任中、「SOS相談窓口」との関わりの中で、次のような地域の住民意識の変容が見られたので紹介します。

○地域住民が自分たちの身近な



沼垂祭り 子どもけんか灯ろう

け止めてきたこと。

○子供たちへの関心が高まり、傍観的な風潮を改めようとする空気が出てきたこと。

○地域ぐるみで「いじめの問題」に取り組みようとする姿勢が見られること。

○いじめの地域ぐるみの動きに、大人だけでなく、子供たちも意識しはじめたこと。

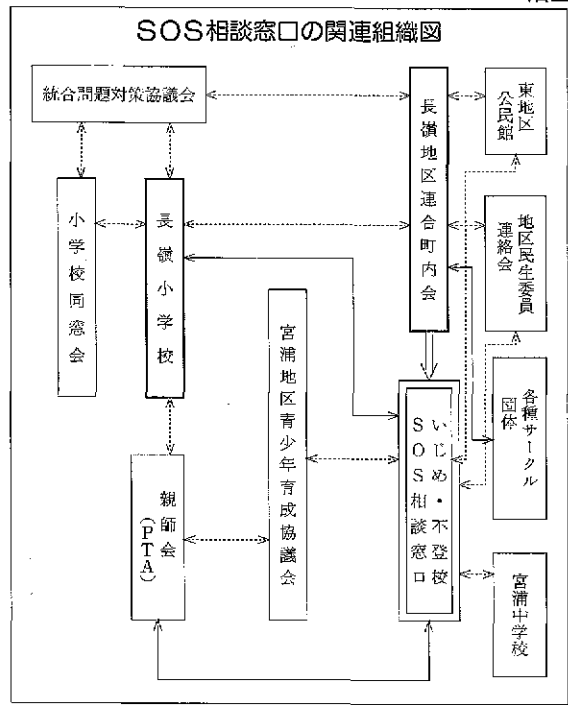
○地域のスポーツ活動、お年寄りの集い、まちの行事、イベントの中に、子供や高齢者を含めた企画が多くなってきたこと。

私も前述の各種行事や活動に積極的に参加しましたが、予想以上に一般住民の参加が多く、関心の高さを再認識しました。

このような地域の支援を受けて、学校側でも「いじめは絶対許さない」という気運が盛り上がり、地域や家庭との連携を一層深めるため努力しました。

地域の子供たちは自分たちの共有の財産という基本理念をもって、常に子供たちを見守っている雰囲気や環境づくりが大きな教育力となり、この力が支えとなって、いじめ・不登校の大きな抑止力や未然防止となってきたと考えております。

私はこの実践を通して、地域の教育力の高さを実感しました。この取組みが今日なお継続されていることを嬉しく思い、今後の成果を期待しています。



# 実践記録シリーズ (26)

## TRY! 輝いている今だから —十日町青年学級—

### 十日町市公民館



十日町青年学級は、青年学級振興法に基づく県下唯一の国庫補助学級で、毎年4月に開級し翌年の3月に閉級する、通年制の公民館事業です。

その内容はコース別学習を中心として、全体学習と自治会活動の三本の柱となっています。コース別学習は毎週木曜日の夜

が定例学習日で、平成10年度は焼きもの、美術、写真、手話、エンジョイクッキング、シネマ&ビジュアル、エンジョイイングリッシュ、パソコンの八つのコースから成っています。学級生の数は約60名で、ここ数年はほぼ横ばいとなっています。

コースについては年度末に学級生の代表が出席して行われる「コース選定会議」によって翌年度のコースが決定されますが、参加している皆さんの意見や要望を生かして運営しています。

各コースとも学級生に対し、理解のある専門の講師が指導にあたり、学習の成果は毎年秋に開催される「公民館まつり」の場などで発表されます。

十日町青年学級の大きな特長の一つに、活発な自治会活動があげられます。自治会組織は会長を中心に広報委員会と企画委員会との二つが核となり、楽しくユニークな活動を展開し、仲間づくりの大きな原動力となっています。

広報委員会では広報誌を毎月発行しています。B5判、12〜14ページ程度のもので、学級生のエッセイや行事の案内、各コースの紹介など内容は多彩で、印刷、製本に至るまで全て自分たちの手作りです。また年一回、年度末に発行される機関紙「炎」は昭和30年6月に当時の文芸鑑賞コースによって創刊され、現在まで77号が発刊されています。昭和41年には全国青年学級機関紙コンクールで文部大臣表彰をうけています。

企画委員会で計画される行事は、4月早々に行われる「新人歓迎パーティー」をかわきりに、

一年間の学習のまとめとしては、年度末に「わたしたちの学習」が刊行されます。これは各コースの特色が滲み出た、個性的な内容となっています。

全体学習は各コースが順番に担当し、年六回ほどそれぞれ工

夫を繰らした学習会が行われています。

十日町青年学級の大きな特長の一つに、活発な自治会活動があげられます。自治会組織は会長を中心に広報委員会と企画委員会との二つが核となり、楽しくユニークな活動を展開し、仲間づくりの大きな原動力となっています。

広報委員会では広報誌を毎月発行しています。B5判、12〜14ページ程度のもので、学級生のエッセイや行事の案内、各コースの紹介など内容は多彩で、印刷、製本に至るまで全て自分たちの手作りです。また年一回、年度末に発行される機関紙「炎」は昭和30年6月に当時の文芸鑑賞コースによって創刊され、現在まで77号が発刊されています。昭和41年には全国青年学級機関紙コンクールで文部大臣表彰をうけています。

企画委員会で計画される行事は、4月早々に行われる「新人歓迎パーティー」をかわきりに、

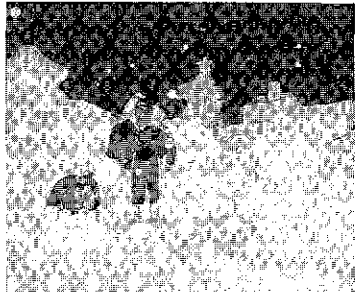
サマーキャンプやクリスマスパーティー、雪まつりに協賛して実施する雪像づくりなどバラエティーにとみ、どの行事も仲間づくりが大きく貢献しています。

公民館には青年学級専用の自治会室が設けられています。ここで様々な企画行事が計画され、広報誌が作られたりしています。また学級生のたまり場としても有効に利用されています。

十日町青年学級は今年で50周年を迎え、10月には盛大に記念式典、祝賀会を開催する予定となっています。県下に誇る十日

### 学習コース (平成10年度)

- ☆焼きものコース  
土と炎との対話。今静かなブームです。
- ☆パソコンコース  
WINDOWS95でインターネットも。
- ☆エンジョイクッキングコース  
料理のレパートリーを増やしませんか?
- ☆写真コース  
撮影と現像の基礎を学びます。
- ☆美術コース  
広がります。水彩画、油絵、イラストの世界。
- ☆シネマ&ビジュアルコース  
映画鑑賞とオリジナルビデオの製作をします。
- ☆手話コース  
手話は新しく楽しいコミュニケーション。
- ☆エンジョイイングリッシュコース  
これで海外旅行も安心です。
- ☆自治会活動  
サマーキャンプ、クリスマスパーティー、雪像づくりなど、楽しい行事がもりだくさん。



雪像づくりに挑戦

町青年学級の今後の益々の飛躍をOBの皆さんを始め、関係者一同願っているところです。

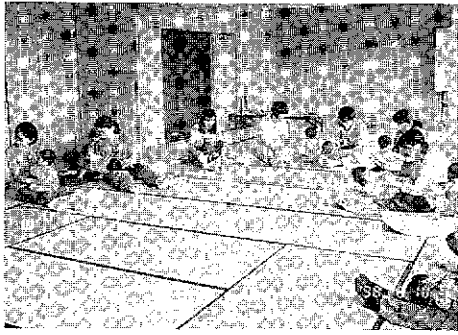
(主任、斎木重緒)

# サークル交流

## 広がれ、人と人との 交流子どものために

### 子育て支援グループ ほいっほ俱樂部

「子どものために自分のためにそして今必要としている誰かのために一歩踏み出してみよう」そんな思いで子育て支援グループ「ほいっほ(歩一歩)俱樂部」は新津市に誕生しました。活動は毎年一回の講演会開催、様々な世代が集う世代間交流トーク、フリーマーケット、三ヶ月毎発行の情報季刊誌「わくわくおやこ」0歳児・3歳児のための育児サークル運営などあり



ます。0歳児、3歳児サークルやスタッフ会議などで公民館を利用しますが、赤ちゃんが安全にハイハイできる和室や3歳児が走り回れる体育館、そして図書室などが整っていてサークル参加者から喜ばれています。現代は子どもが少なく親も子どもも仲間づくりが難しくなっています。育児をして育自に大切な仲間、学習の場づくりのきっかけ提供グループに職員の方々の力も借りながらなればと願っています。子どもは、いろんな人と交わり交流しながら育つてこそ幸福なのですから。

(新津市「ほいっほ俱樂部」  
香山 智恵子記)

### 生涯学習に

#### 自らの夢を託して

#### 陶芸教室

三年前から「陶芸教室」を始めた。毎月第一、第二の上曜日の午前中を活動時間としている。施設は全くの借り物で、その一つは町の高齢者の生甲斐対策用の「老人憩いの家」の工作室で、講師に石井美恵先生(元小学校教諭)をお願いした。生徒は公募により若い勤め人



もいるが、大半は中高年の男女十五名。作業はまず、工作室で粘土をこね、ロクロを廻して井や茶碗の型作りをする。

その後、半製品を講師の窯場へ運び、彩色や上菜をかけて焼成して作品が出来上がる。

時には生徒の遅れや手直し、焼成のための時間超過は、全面的な講師の好意に甘えている。

生徒もそれなりに努力はしているが、一組みの型が等しく揃うまでには大変な骨折だ。それでも作品は世界中で唯一つだの誇りと、喜びを感じている。

作品は三月中旬に開かれる生涯学習フェスティバルに展示し、参観者から感嘆の声も届く。陶芸を通じ共に学ぶ方向を得た。

(柿崎町中央公民館  
桑原 潮記)

### 五泉市公民館

#### 主事 清水康之 さん

五泉市には昭和二十九年の市制合併のなごりから、五泉市公民館の他に三つの館があり、それぞれが独立館です。

独立館と言っても、独自の建物はなく、それぞれが小学校の一部を間借りしております。

職員も嘱託の館長と、教頭を主事にお願ひし地域の生涯学習を実施しております。



学校の仕事だけでも大変忙しい

## 素顔 拝見

### 堀之内町公民館

#### 主事補 星野 美紀 さん

公民館の星野美紀さんを紹介いたします。

美紀さんは、公民館事業で成人式をはじめ子ども館報「ほりのうち」、リフレッシュセミナーなどを担当し今年で4年目。

彼女は、若いのにとてもしっかりしている。チームワークを大切に、常に他を思いやり、遅れている時には、誰かれ無く困っている人にすかさず手を貸してくれる。そんな細かい心遣いが嬉しい。また、仕事の内容にこだわらず汚い仕事にも進ん



先生から「五泉市公民館の方から手伝いをやってもいい」と要望がしきり、そこで社会教育課から兼務という名で(仕事は公民館100%)「お助けマン」がやって来た。それが清水康之君だ。週一回ずつ三つの公民館を廻り、今日はA館の芸能祭の準備、明日はB館の運営委員会、明後日はC館の運動会の打合わせと毎日が多忙、多忙。その他、五泉市公民館の各種教室の担当と、身体がいくつあっても足りない充実(?)した毎日。

(五泉市公民館 主幹 高野 敏郎記)

で取り組んでいる。電話や窓口の応対も、すばやい動作で優しく親切である。

彼女が担当してから成人式の内容が変わった。記念講演を達齡者の集いに変え、ビデオレターや思い出のスライドを上映した。達齡者にはとても好評で盛り上がりがある。

アルコールもまあまあいける口で、飲むとだんだん…あとはひみつである。

(同公民館 副主任 大桃 明記)

恵贈資料紹介

中社連会誌

—平成9年度—

中越地区社会教育委員連絡協議会



社会教育委員の活性化に努めましょう。中社連澤田会長さんの巻頭言が注目されます。

内容は、1研修事項、2地区別研修会、3会員の声、4組織等から構成され、大変分かり易く編集されており、1では、9年度の歩み、第17回県青少年教育研究の概要、第36

恵贈資料紹介

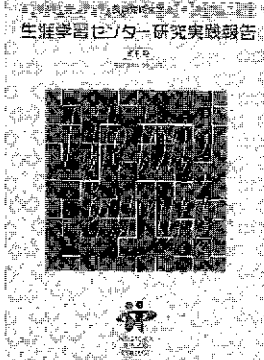
生涯学習センター研究実践報告

創刊号 平成10年3月

長岡短期大学

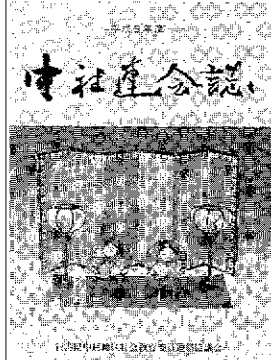
本誌は地域に開かれた大学という建学の理念を、生涯学習の観点から実現するため開設された生涯学習センターの実践記録として刊行された創刊号です。

回顧と展望の中で、滝沢助教授は、第一に、本学選任教員が公開講座や「ながおか市民大学」をはじめとする講座等で語った内容を記録したい、第二に、地域の生涯学習事業についても記録したい、第三に、とりわけ大



学における生涯学習事業の在り方について研究を進めたい、そして第四に、本学や地域の生涯学習事業に関わる人々の交流の

中社連研究会の概要が、2では、地区別(七)研修会の報告、3の会員の声ではそれぞれ



の視点から、含意のあることばで述べられております。大変懐かしい先輩の方々のお顔も拝見され、親近感をもって読むことができました。

最後の4では、会誌からみた中社連を年度毎に追い、会則、役員名簿、委員構成、決算、予算、全員の名簿と、これ一冊で全てが理解される仕組みとなっております。

場になりたい、等と本誌発刊への願いを熱く、心を込めて記述されており、内容は、報告、実践論文、特別寄稿、講演録、講座シラバス(大要)、生涯学習あれこれ、で構成され、高度で専門的なものから、気軽に読めるものまであります。

私は、朝の一時間の活用がスーと入れました。今後の続刊を期待しております。

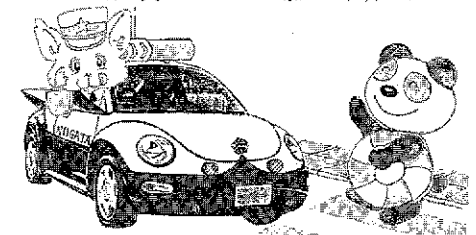
平成10年

夏の交通事故防止運動

新潟県実施要綱

期間 7月22日(水)から7月31日(金)まで

スローガン 暑い夏 いねむり・暴走 事故のもと



重点 若者の交通事故防止、高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用の徹底

主催 新潟県交通安全対策連絡協議会

あ と が き

◆昨年、7月と同じく、県大会、関プロ大会、全国大会等行事目白押しの中、要項案内送付から大会参加申込みに至るまで、事務局は正に多忙を極めております。

◆今年の関プロ大会開催地は、

表紙解説

良寛法要

どんより雲の六月六日、良寛遷化の地島崎の隆泉寺で、良寛法要がしめやかに営まれた。県内各地から良寛の面影を偲んで大勢の方々が集まされた。(和島村公民館)

山梨県河口湖町、名峰富士山麓環境の素晴らしい所です。本県担当第6分科会は、地域づくりと公民館です。『民話の里あかどまりで』村づくりとして、創作民話劇で村づくりに取り組む赤泊村公民館の実践発表です。(鈴木 記)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年刊1,800円】